



令和6年度第2回全体会（令和6年12月26日開催）

委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
1	福山委員	〔西成区こども生活・まなびサポート事業の予算額について〕 令和5年度の決算額が6,400万円と、令和6年度の予算額が1億4,000万円と、倍増しているのはどういうことか。	令和6年度から、区内全10小学校で学習姿勢向上支援員を配置することになりました。そのため、10校分の学習姿勢向上支援員の人件費と、低学年の児童の学習姿勢をサポートする有償ボランティアの人件費で、令和6年度は予算が増額しております。	令和5年度に、こども生活・まなびサポート事業（学習姿勢向上）を2つの小学校でモデル実施し、一学期末時点で事業効果が見られ、手法を構築した上で、令和6年度から区内全10小学校に拡充しています。	子育て支援担当
2	福山委員	〔西成区こども生活・まなびサポート事業の支援員について〕 支援員は、どういう方々を対象に採用されているのか。	登校支援・見守り支援員については、これまでも継続して実施しています。居場所支援員についても同様に、特に資格は必要ありませんが、子どもたちを指導した経験がある方を対象としています。例えば、教員経験者や塾の講師、またはいきいき活動（児童いきいき放課後事業）の指導員経験者など、子どもに関する業務に携わったことのある方を対象としています。	学習姿勢向上支援員の資格については、保育士または幼稚園教諭の資格を有する方を対象としています。さらに、保育所（園）、幼稚園、または認定こども園などで、就学前児童と関わる業務を2年以上経験していることが条件となります。	子育て支援担当
3	上田假奈代委員	〔あいりん総合センターの強制執行に関する報道について〕 12月の最初に、あいりん総合センターの塀が片づいた。現場の感覚としては、西成区の皆さんや地域の人たちがいろいろな活動を通して配慮した上での出来事だったと思うが、報道をばっと聞くと、非常に排除感があって残念に思った。取り組んでいることを伝える機会が社会に向かってあればいいのになと思う。	強制執行につきましては、大阪府が裁判所に申し立てて実施されたものです。区役所としては、占有者の方に対して福祉的な支援につなげるというのが役割かと思っております。情報発信については、プライバシーの関係もありますので難しいところはありますが、ちゃんとフォローしていますということは発信できればと考えております。	当日の回答のとおり	総合企画課
4	上田假奈代委員	〔萩小の森の閉鎖について〕 皆さんが将棋などをされている公園（萩小の森）が閉鎖されているが、どうなっているのかお聞きしたい。	萩小の森ワーキンググループというご意見をお聞きする場がありますので、ご意見などを参考に、どういう方針とするのかを検討していきたいと考えております。	萩小の森は一時的に閉鎖しておりましたが、萩小の森ワーキンググループなどで地域の方々のご意見をお伺いし、令和7年1月6日より供用を再開しております。	総合企画課
5	上田假奈代委員	〔あいりん総合センターの今後について〕 あの辺りが変わっていくことになると思うが、どのようなプラン、あるいはタイム感があって進んでいくのか、もし決まっていることがあればお聞きしたい。	センターの今後について、まずはセンターの解体撤去が始まります。工期が令和9年の3月末までという形で、大方2年ぐらいかかるというところがございます。撤去された後、更地になれば、南側に新しい労働センター、北側に大阪市が管轄します福利・にぎわい施設を建設、開発していきますが、大阪市の土地を貸し付けて、民間事業者が開発していただきます。この構想については令和3年に活用ビジョンというものが策定されており、それに基づいた活用になります。福利・にぎわい施設につきましては、この間、地域の方と議論、意見をいただいた中で、福利機能として多目的ホールとか、図書施設でありますとか、こどもの居場所、子育て支援機能とか、いろんな活動の場の提供とか、伝統を継承するようなそういった場というものの機能、こういった4つの機能を確保していきます。インバウンドや観光客をターゲットとするとか、地域の方がそこへ集いにぎわえるような施設という形で、民間のアイデアもいただきながら造っていきたいというふうに考えていまして、解体に2年ほどかかりますので、その間に福利・にぎわい施設の活用案というのを取りまとめた上で民間開発に移っていききたいという形で考えております。	当日の回答のとおり	総合企画課
6	小林委員	〔天下茶屋駅前まちづくり方針について〕 10月31日に天下茶屋駅前まちづくり方針というのが策定されていると思う。次の区政会議で概要などを教えていただくことは可能か。	次の区政会議でお話しさせていただきます。	当日の回答のとおり	総合企画課
7	宮尾委員	〔あいりん総合センター跡地の活用の検討について〕 昔からある民間団体や、地元ずっと根づいて活動していただいている方も中に入れていただきたい。	あいりん地域まちづくり会議のテーマ別の検討会議の福利・にぎわい検討会議がございまして、地域の方も含めてご意見いただく場として今議論をしているところでございますので、そうしたことも踏まえまして、これらも議論を進めていきたいと考えております。	当日の回答のとおり	総合企画課
8	戸崎委員	〔大阪フィルハーモニーについて〕 先日の区役所であったクリスマスコンサート、とてもよかったので、せっかく西成区にある施設なので、こういう機会をもっと増やして、西成区の発展を考えていったらいいと思った。	—	クリスマスロビーコンサートは、2ステージで約330名の来場者がありました。アンケート結果において、回答数の93%の方が次年度開催の希望があったため、次年度に向け区民ニーズに対応したロビーコンサートの開催を検討しています。また、西成区と大阪フィルハーモニー交響楽団との連携内容をホームページやSNSに掲載し、区内・区外の方に幅広く西成区の魅力を発信していきたいと考えております。	総合企画課

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
9	片上委員 (意見票)	【あいりん総合センターの今後について】 あいりんセンターは、茨木市の「おにクル」のようになるのかとイメージしている。福祉のイメージを全面に出すことは、陰のイメージがついてしまうので、陽のイメージを前面に出していただきたいと思った。子育て世帯が居住できるマンションになれば、こどもの数も増えると思って期待していた。	—	将来、新たな施設が建設され、新たなにぎわいが生まれることで、当該地域のイメージも変わるものと考えております。 新たな施設については、現在、センター跡地において、どういった機能が必要か、地域の方々からご意見を頂戴しているところであります。今後も、ご意見の内容を踏まえて、どういった利活用ができるのか、引き続き検討していきたいと考えております。	総合企画課
10	戸崎委員 (意見票)	【あいりん総合センターの今後について】 あいりんセンターのごみ山がやっと閉鎖されたが、今後の進展を知りたい。	—	現地の解体工事完了後、土地活用を始めるためにも、現在、センター跡地において、どういった機能が必要か、地域の方々からご意見を頂戴しているところであります。今後も、ご意見の内容を踏まえて、どういった利活用ができるのか、引き続き検討していきたいと考えております。	総合企画課
11	上田假奈代委員 (意見票)	【西成のアーツカウンスルについて】 関西大阪国際芸術祭でも西成は注目されている。西成のアーツカウンスルをつくとかはどうか。	—	大阪府・市では、大阪府市文化振興会議においてアーツカウンスル部会が設置されています。 西成区は現代芸術振興事業においてアーツカウンスルの事業評価を受けており、助言等を参考に、まちの活性化・イメージアップの取組を進めております。	総合企画課